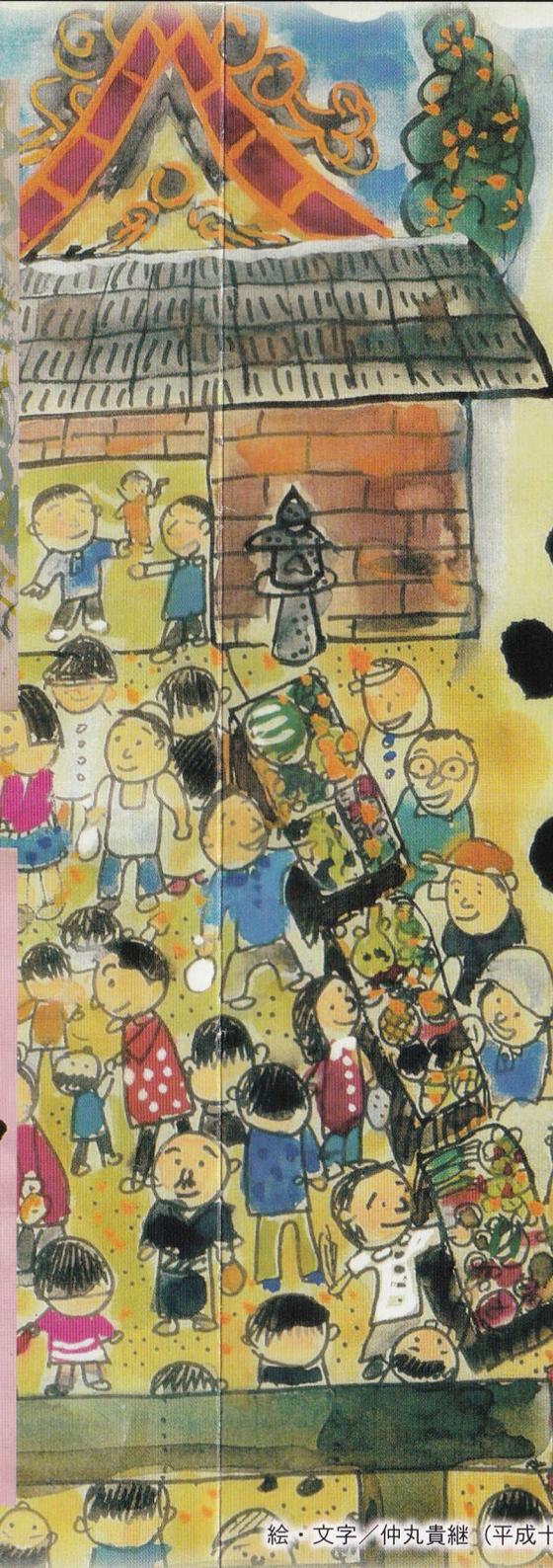


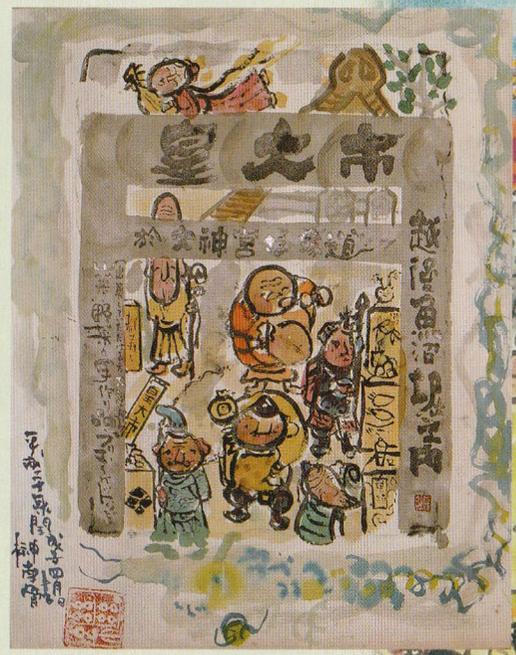
五月十日第一日

於堀之内町皇大神宮さま
参道

皇大神



絵・文字／仲丸貴継 (平成十五年)



(平成二十年)

山菜・野菜
つけもの
花・苗・山野草
五月～十月
第一日 ぶらり日

皇大神

堀之内
於皇大神宮参道

駄菓子
手づくり品
フリーマーケット

(平成十五年)

皇大神宮大神の歴史

越後堀之内の皇大神宮は正平十六（一三六一）年の草創といわれています。伊勢神宮の遥拝所として、かつては伊勢皇大神宮から派遣された神官・一志太夫の代官が常住し、県内および東北方面へ布教していた、由緒あるお宮です。

中世期には、越後守護上杉家の厚い信仰が寄せられ、その祈願所であったといえます。それゆえに皇大神宮の宝物の一つに上杉家御紋入りの幕が数えられています。

十一月と十二月の例祭は「お神送り」「お神迎え」と称され、参詣に集まる講中と呼ばれる人々で殺到しました。遠隔地の人々は午前零時を過ぎると提灯を下げ、集団で、この皇大神宮まで歩き通したのでした。



大正11年頃のお神送りの様子

